

基本目標1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

(1)しごとと環境の創出

1. 計画的な工業団地の整備
2. 企業誘致活動の推進
3. 雇用の確保と安定化
4. 創業・事業承継の促進
5. 魅力ある商店づくり



- 新たな工業団地整備に向けた県との具体的協議
- 東武桐生ビルに新たに開設したシェアオフィスの利用促進
- 「まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業補助金」による事業承継の促進
- 「地域店舗買物促進事業補助金」により地域での買物促進につなげる取組を支援

(2)地域産業の活性化

1. 市内企業の成長支援
2. 商品開発・販路開拓の支援



- 工場アパートの維持管理や各種支援等を通じた入居企業の成長促進
- オープンファクトリーを実施する事業者を支援
- 展示会出展補助金の交付、東京インターナショナルギフトショーへの出展、ビジネスマッチングフェアの開催による国内外への販路開拓支援
- 繊維産業の販路拡大と桐生ブランドの定着等の推進

(3)農林業の活性化

1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 林業後継者の育成
4. 林業振興と林業生産基盤の整備



- 各種補助金等による農業振興の推進
- 6次産業化に向けた農業者等の取組を支援
- 桐生市産木材から作製した製品を婚姻届けを出した夫婦に御祝い品として贈呈
- 林業機械の修繕等に対する補助制度を創設

基本目標3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援



- 今まで実施していた産後2週間健診に加え、産後1か月健診を新たに追加
- 子ども発達支援に関する「メンター事業」を新たに開始
- 中学3年生と高校3年生のインフルエンザ予防接種異様の一部助成を開始
- 小学校6年生から高校1年生までの男性を対象としたHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）接種費用の全額助成を開始

(2)安心して子育てができる環境整備

1. 子育て支援サービスの充実
2. 青少年保護活動の充実



- 放課後児童クラブの第3子以降の保育料無料化を継続
- 屋内遊技場キッピーランドにおける各専門職による相談業務の充実
- ネット見守り活動の更なる充実と早期からの情報モラル教育を推進

(3)特色ある教育の充実

1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
2. 学校・地域との連携の推進



- サイエンスドクター事業の実施
- 小学生の職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう」を開催
- 放課後子供教室を新たに3校設置し、市内全14校で実施
- 「未来創生塾」への支援

(4)教育研究・相談機能の充実

1. 教育研究・研修の充実
2. 教育相談の充実



- 教育研究所において、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した指導のあり方に関する研究や、ICTの効果的な活用方法に関する研究を実施
- 旧西中学校跡を活用した「（仮称）総合教育センター」の整備を開始

基本目標2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

(1)シティブランディングの推進

1. 理念・方針等の周知啓発
2. 推進体制の整備・活動支援



- メディアプロモーションに関する助言・提案をいただく「桐生市メディアプロモーション戦略監」の登用
- 本市に縁があり、様々な分野で活躍し、市内外に広く影響力を有する著名人等を「（仮称）桐生魅力大使」に任命
- 民間主導でのシティブランディングに資する取組を支援する補助制度を新たに設置

(2)移住・定住の促進

1. 移住・定住の促進



- 移住定住に関するワンストップ窓口を新たに設置
- 「きりゅう暮らし応援事業」における加算の拡充
- 「桐生市移住支援補助金」の拡充
- 「住宅リフォーム助成」の予算を拡充
- 移住・定住に関する施策を総合的に推進する「移住定住推進室」を新設

(3)観光の振興

1. 観光客誘致活動の推進
2. 観光拠点機能の充実



- 桐生市観光情報センター「シルクル桐生」を拠点とした公民連携による観光まちづくりの体制・機能強化
- 八王子市で開催される「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」への参加、館林市、足利市と引き続き連携する中で、日本遺産のPRを実施
- 動物園における動物診療所、カピバラ舎及びサル山の改修に向けた設計に着手

基本目標4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

1. 地域防災力の向上
2. 地域包括ケアの推進
3. 介護予防・重度化防止の推進
4. 生活習慣病予防の推進
5. 生活習慣病の重症化予防



- 桐生産手ぬぐいを活用した災害時安否確認防災バンダナを新たに導入
- 65歳以上の高齢者にICTを活用した24時間対応の見守りシステムの利用助成を新たに開始
- 「きりゅう健康ポイント事業『100点チャレンジ』」において「桐ペイ」を活用したポイント付与を新たに開始
- 特定保健指導が未利用の場合に健康スコアを送付する利用勧奨の実施

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

1. 持続可能な都市の形成
2. 中心市街地活性化の推進
3. 歴史まちづくりの整備
4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
5. 温暖化対策の推進
6. スポーツ施設の充実
7. 公共施設マネジメントの運営
8. 用途廃止後の施設の有効活用



- 重伝建地区において公衆トイレ整備を実施
- 「（仮称）重伝建地区公開活用施設」の保存修理工事を実施
- 「重伝建コーディネーター」を新たに配置
- 球都桐生プロジェクト推進協議会を発足し、「東京六大学野球オールスターゲーム」開催など、野球をテーマにした公民連携のまちづくりを推進
- 水道局の移転先となる旧昭和小学校の改修に向けた設計を開始

(3)地域連携の推進と交通基盤の整備

1. 地域連携の推進
2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
3. 幹線道路の整備
4. 鉄道利用の促進
5. バス交通網の充実



- 「桐生・みどり未来創生会議」を継続して設置
- 「桐生市交通ビジョン」の策定
- 公共交通を利用して市内の小・中・義務教育学校に通学する児童・生徒の保護者に、通学費定期代を全額補助する制度を創設
- 「おりひめバスモニター制度」を新たに開始